

令和2年度 第1回高知県健康づくり推進協議会 議事要旨

- 1 【日時】 令和2年7月16日（木） 18:30～20:20
- 2 【場所】 高知県庁本庁舎2階 第二応接室
- 3 【出席者】 協議会委員 17名（1名欠席）、事務局 6名
- 4 協議事項
 - (1) 現状について
 - (2) 第4期高知県健康増進計画進捗状況及び令和2年度の取り組みについて
 - (3) 各専門部会について
 - (4) その他
- 5 議事の経過の概要
会長の議事進行により、各議題について事務局の説明を受け、協議が行われた。

議題（1）現状について

事務局より、高知県の死亡等の現状について説明を行った。

【内容等】

- ・委員より、糖尿病性腎症の目標値について質問があり、令和5年度に新規透析導入患者の数を108人以下とする目標値の設定内容について回答した。

議題（2）第4期高知県健康増進計画進捗状況及び令和2年度の取り組みについて

事務局より、令和2年度の取り組みについて説明を行った。

【内容等】

①子どもの頃からの健康的な生活習慣の定着について

- ・委員より、食生活実態調査事業について、具体的な手法や他県での成果について質問があり、事務局より、調査の手法の説明と広島県において実績がある旨回答した。
- ・委員より、小学校5年生の肥満率が高いことを踏まえ、取り組みの前後のデータがどう変わってくるか見ていくことが重要であるとの意見があった。
- ・委員より、高知県は小学5年生の肥満率が高いことについて、食生活や運動習慣など、食生活実態調査事業を通じて重点的に調べていくべきであるとの意見があった。

②働きざかりの健康づくりの推進について

- ・委員より、健康パスポートアプリを活用した健康づくりの推進について、平成30年度からのアプリ利用者の増加数や年齢層の内訳について質問があり、事務局より、平成30年9月のアプリ配信スタート以降、令和2年5月末時点のダウンロード数は約1万4,000件であり、年齢層は働きざかりの40代、50代の方のダウンロード数が若干多い傾向にある旨回答した。
- ・委員より、健康パスポートアプリを活用して歩いてもらうためにも、県からのPRを積極的に行ってもらいたいとの意見があった。
- ・委員より、健康づくり婦人会での健康パスポートアプリの普及活動の取り組みについて紹介があった。
- ・委員より、健康パスポート事業の目標値について質問があり、事務局より、パスポート1の取得者数を令和3年度に5万人とする目標を設定している旨回答した。
- ・委員より、健康パスポートの対象年齢について20歳以下も対象としてはどうかとの意見があり、事務局より健康パスポートの取得対象は、壮年期の死亡率の改善という重点課題があったため働きざかり世代が対象となっていること、アプリはパスポートを取得していない未成年の方でもダウンロードをして一部機能を使用できる旨説明した。

③生活習慣病の発症予防と重症化予防対策について

- ・委員より、特定健診の啓発に関して、インターネット等の広告を利用して年齢層やエリア等、ターゲットを絞った形で周知を行ってはどうかとの意見が出された。

④分野ごとの健康づくりの推進について

- ・委員より、取組全体を通して、数値目標にこだわった取り組みを行っていくべきとの意見が出された。
- ・委員より、健康づくりに関する県民向けの普及啓発活動について、チラシの作成配布だけでなく、マスメディアの有効活用など、広報の仕方をより工夫した方がよいのではないかと意見が出された。
- ・委員より、県庁職員の喫煙率及び禁煙対策について質問があり、事務局より職員の年代が上がるにつれ喫煙率が上がっていること、禁煙対策については職員厚生課が所管課として全庁的に取り組みを行っている旨回答した。

議題（３）各専門部会について

事務局より、令和２年度の各専門部会について説明を行った。

【内容等】

- ・委員より、ウォーキングイベントについては、県のイベントだけでなく、市町村が行っているイベントについても連携して情報発信をしてほしいとの意見があり、事務局から連携して発信していく旨回答した。

議題（４）その他

事務局より、高知県糖尿病発症・重症化予防施策評価会議の設置及び循環器対策推進計画の策定予定について説明を行った。

○以上をもって、20時20分に閉会した。